

総合型選抜【文武両道型】：文武両道特待生 C（チャレンジ）制度 Q&A

【受験前】

Q. 高校での課外活動が、大学では活動の無い分野や競技の成果であっても、受験は可能でしょうか？

A. 本学サークル活動には無い競技や分野においても、在学したまま所属可能な社会人チームやクラブで活動が継続できる場合は可能です。上記のいずれも受け皿が無く、活動の継続が不可能な場合は残念ながら受け入れできません。

Q. 高校での課外活動において、チームの中心的な役割は担っておらず控えでしたが、加算点の対象となりますか？

A. 「出場」しているかが加算点の対象となります。また、本学での活動においては、中心となって学業と課外活動で活躍していただけるよう努力できるかが重要となります。

Q. 高校在学時に運動部で全国大会出場の成績を残しました。この成績でデザイン芸術学科の受験をすることは可能ですか？

A. ルール上は可能ですが、入学後の活動を考えた場合あまり望ましいとは言えません。文武両道と言うのは「スポーツと勉学の両立」と言うより「課外活動と課内活動の両立と継続」と考えています。学生生活において、①学業、②課外活動の優先順位となります。合否その他は、最終的には面接を含めた総合評価によって決まりますが、学科によってそれぞれ運用事情が異なりますので、事前の問い合わせ等で志望学科での入学後の活動イメージを良く確認した上で受験してください。

Q. 高校での活動で極めて優秀な成績がないと受験できないのでしょうか？

A. 受験資格としては、評定平均 3.5 以上、本学入学後も同課外活動の継続実施が条件となります。優秀な成績をあげていることは、書類審査の部分で加算点を与えられる『+α』の要素となります。

Q. 本学開催の「倉魂！」大賞受賞という成績をもって特待生として合格し、メディア映像学科コミックイラストコースを選択希望して入学しました。入学後のコース変更は可能でしょうか？

A. あなたの「課内活動と課外活動」での活動状況によっては、特待生継続のままコース変更は可能です。

Q. A（アカデミック）区分の特待生にはなれませんでした。その場合 B（バランス）や I（イノベーション）の特待生に選ばれるチャンスも失うのでしょうか？

A. 受験生は、面接を含めた総合評価順に下位区分へ振り分けられます。

Q. 受験し特待生制度から選考漏れした場合は、入学辞退は可能ですか？

A. 専願制入試のため、基本的に辞退不可です。一般入試の入試特待生制度に再チャレンジすることを推奨します。

Q. グループワークでは何をやるのですか？

A. 各部（芸術・生命科学・危機管理）から 1 つずつ出された課題を他の受験生と一緒に考えていただきます。

Q.新型コロナウイルス感染症拡大によって高校3年生の大会が中止になり、実績が出せなくなりました。

出願できますか？

A. 高校3年間の実績で自信のある成績3つを全て書いてください。分野によって有利・不利が無いように検討します。

【参考：学科別課外活動受け入れ分野】

	スポーツ活動	文化系活動		自然科学・社会科学系活動
		芸術系	文化系	
デザイン芸術		○	△	△
メディア映像		○	△	△
生命科学科	○		△	△
生命医科学科	○		△	△
動物生命科学科	○		△	△
健康科学科	○		△	△
危機管理学科	○		△	アドバンスゼミに配属

※ 総合評価で同点となった場合、本学での活動が可能な課外活動を優先する。

本学で活動が可能で同点となった場合、課外活動等の組織が「クラブ・学業>同好会>愛好会>外部での活動」の順に優先する。更に同様ランクとなった場合は、学部長・学科長と協議し、学長が最終決定する。

※ グレー塗り（△）は、学業との両立が可能か、入学後のイメージを想定できるか。

商業関係の検定試験やジュニアマイスターでエントリーした場合、面接時、受験生にどのような活動が本学でできるか、学科ごとに活動イメージを想定して判断する。特に危機管理では、「アドバンスゼミ」と言う課外活動の受け皿をつくり、活動分野により、このゼミ所属による活動を奨励する。

【在学中】

Q. 入学後のケガ等で競技を続けられなくなった場合、特待生制度を受ける資格を失うのでしょうか？

A. 本人の責任に帰する事情で無い場合は、その限りではありません。原則として、課内活動の成績や課外活動の継続実態等々が規定に抵触した場合に資格を失うこととなりますが、個々の事情によって対応措置が異なります。学生本人がなんらかの形で努力を続けようとする場合には、大学としてできる限りのサポートをします。

Q. 在学中に特待生制度そのものが取り消しとなることはあるのでしょうか？

A. 休学した場合や、学生としての本分に反する行為があった場合にはそのような措置を取ることがあります。また、A、B、I特待生として採択された学生が、一定の成績基準（※）を2期連続で満たさなかった場合、学内の審議を経て、1段階下の特待生に変更されるという措置がなされます。ただし、既に特典期間を過ぎている場合、その措置はありません。

※ A（アカデミック）の学生は上位1／4位内を、B（バランス）、I（イノベーション）の学生は上位1／3位内を維持することが求められます。